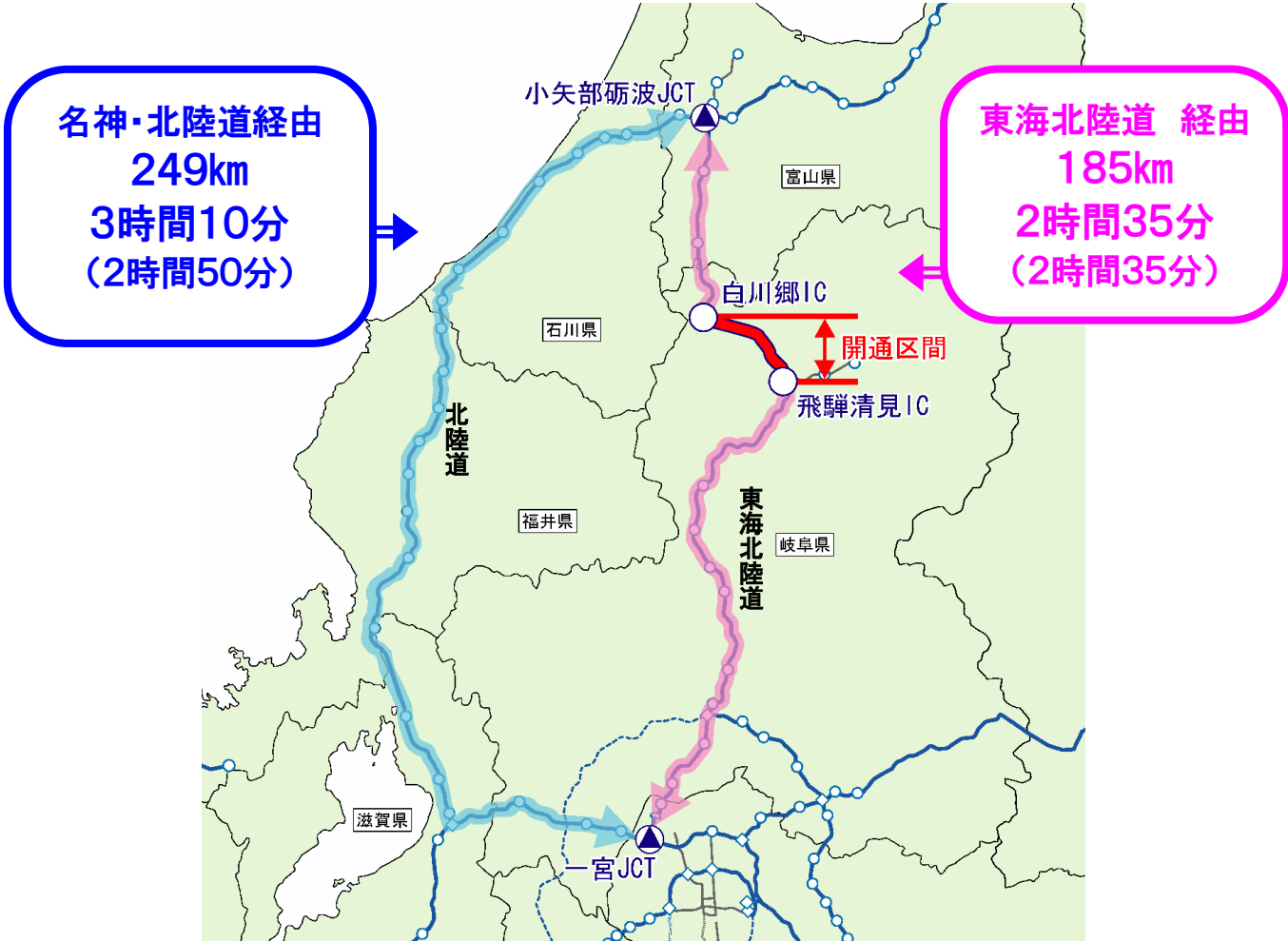


**① 東海地方と北陸地方が近くなります。**

一宮JCTから小矢部砺波JCT間では、北陸道よりも東海北陸道での利用が大型貨物車の場合、時間で**約35分\***、走行距離で**約65kmの短縮**となり、太平洋側と日本海側の繋がりが強くなり、利便性向上に大きく貢献します。

※小型車の場合は約15分の短縮

**約35分、約65km短縮**



※所要時間の算定：高速道路の規制速度をもとに算出  
 ※( )は小型車

**◆全線開通への期待の声（利用意向理由）**

- ・日本海側から太平洋側へ早く行ける（小矢部川SAのお客様）
- ・北陸道より距離が近くなる（呉羽PAのお客様）
- ・ぐるっとまわることがなくなるので（養老SAのお客様）

出典 NEXCO中日本資料「高速道路・自動車専用道路の利用に関するアンケート(2007年12月)」



**②-1 一般道の代替機能を発揮します。**

自然災害などの発生に伴う、一般道通行止め時の備えが必要です。東海北陸自動車道は、一般国道156号の代替路として機能します。



**事例①: 2006年1月14日～16日**  
 豪雪による雪崩により通行止めになった国道156号の迂回・代替路として白川郷IC～五箇山IC、高鷲IC～荘川IC間を無料開放しました。

雪崩発生1/14 3:30～4:30頃  
 幅20m,高さ25m,厚さ1m

**事例③: 1999年9月18日～22日**  
 台風災害により通行止めになった国道156号の迂回・代替路として、開通前の白鳥IC～高鷲IC間を5日間無料開放しました。

出典 岐阜県総合防災ポータルHP

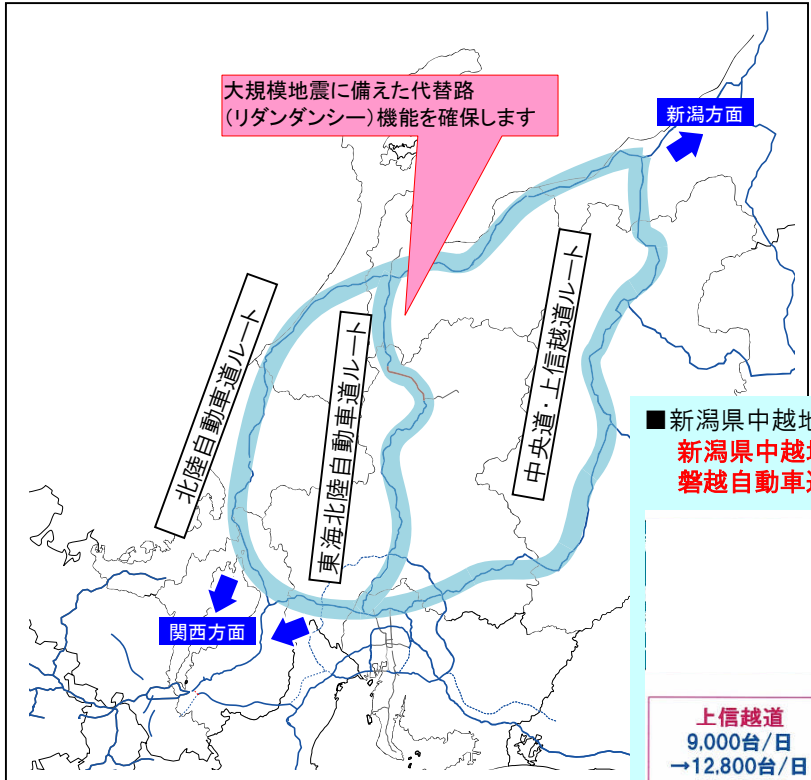
**事例②: 2006年1月20日～4月18日**  
 土砂崩れにより通行止めになった国道156号の迂回・代替路として、白川郷IC～五箇山IC間を約3ヶ月間無料開放しました。

出典 富山県

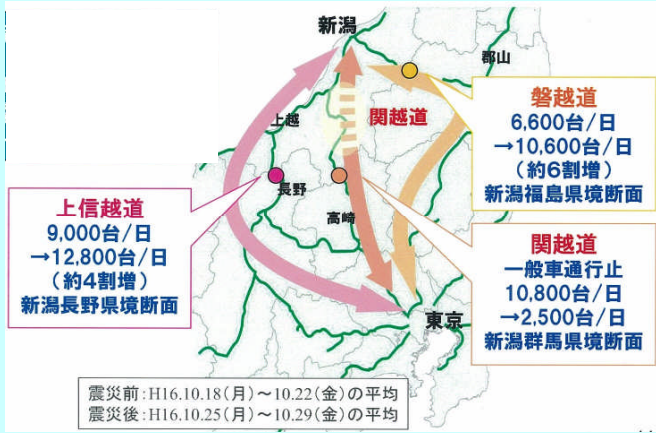
**事例④:**  
 大型車の離合が不可能な区間があります

**②-2 高速道路ネットワークの完成により信頼性が向上します。**

道路ネットワークも東海・東南海地震などの大規模災害への備えが必要です。東海北陸自動車道は、北陸自動車道や中央自動車道・上信越自動車道と相互に代替路としての機能を確保します。



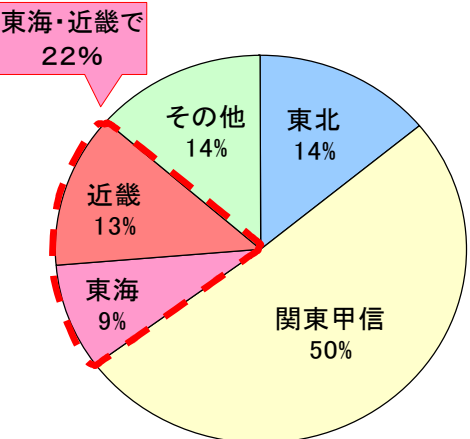
■新潟県中越地震における事例  
新潟県中越地震で関越自動車道が通行止めの際、磐越自動車道と上信越自動車道が代替路として機能



震災前:H16.10.18(月)~10.22(金)の平均  
震災後:H16.10.25(月)~10.29(金)の平均

出典 (独)日本高速道路保有・債務返済機構資料

◆新潟県のトラック輸送における物流量の内訳



出典 物流センサス(2005)

東海・近畿と新潟県の企業連携の寸断回避に貢献

◆東海・近畿に主要取引先を持つ新潟県の企業(製造業)

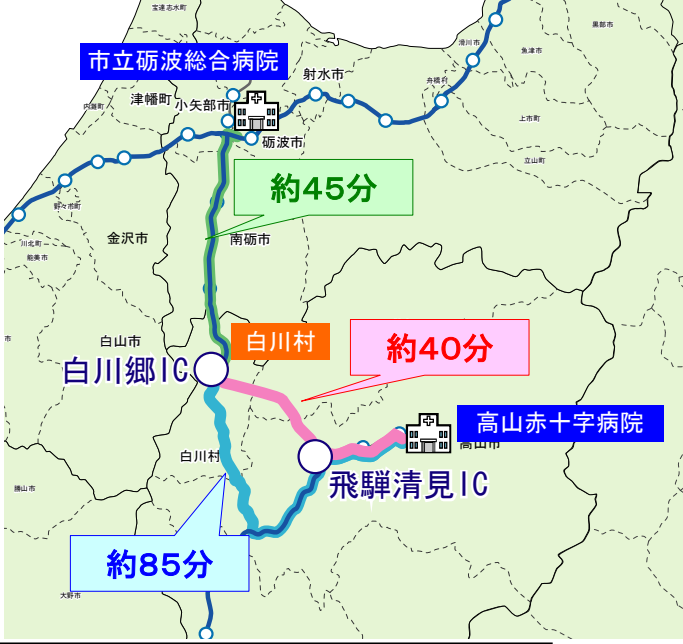
業種	東海		近畿	
	企業数	割合	企業数	割合
鉄鋼・非鉄金属製造業	5	9.3%	11	20.4%
金属製品製造業	10	8.4%	24	20.2%
機械工業	36	13.8%	45	17.2%
その他の製造業	4	3.6%	6	5.4%
合計	55	10.1%	86	15.8%

出典 新潟県会社要覧(2008年版)

東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県  
近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山

**③ 救急医療体制（医療施設までの搬送時間短縮）を支援します。**

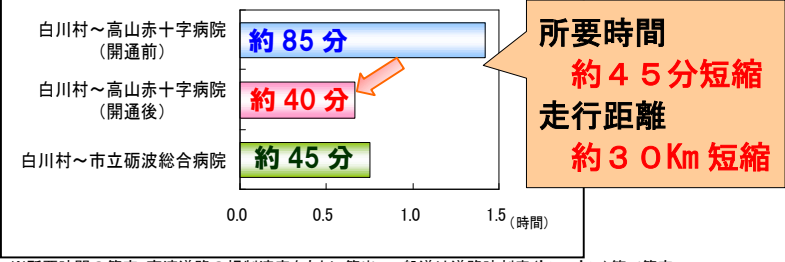
白川村から高山赤十字病院までの所要時間が、**約45分短縮**されます。また、**複数の高度医療施設が身近になり、県間を跨いだ医療連携が期待**されます。



■それぞれの病院特有の診療科目に応じた医療施設の選択が可能になります

	市立砺波総合病院	高山赤十字病院
共通の診療科目	内科	内科
	小児科	小児科
	産婦人科	産婦人科
	外科	外科
	脳神経外科	脳神経外科
	泌尿器科	泌尿器科
	放射線科	放射線科
	皮膚科	皮膚科
	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科
	眼科	眼科
	精神科	精神科(心療内科)
	歯科口腔外科	歯科口腔外科(歯科)
	整形外科	整形外科
	リハビリテーション科	リハビリテーション科
	それぞれの病院特有の診療科目	大腸肛門科
放射線治療科		呼吸器科
核医学科		消化器科
救急科・ICU・HCU		麻酔科
緩和ケア科		
形成外科		
口唇口蓋裂センター		
東洋医学科		
麻酔ヘインクリニック		
病理科		
女性骨盤底再建センター		

出典 各病院HP(2008年3月現在)



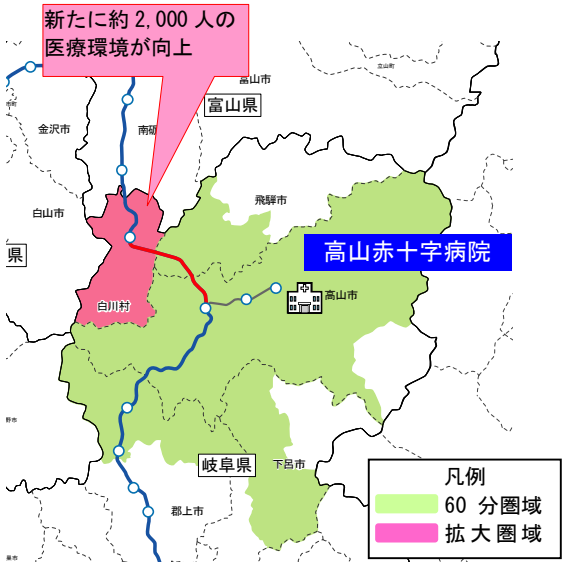
**所要時間 約45分短縮**  
**走行距離 約30Km短縮**

**「ヘリ離着場整備による救急活動への支援**  
NEXCO中日本では、高速道路において発生した傷病者への対応を早急に行うため、飛騨河合パーキングエリア内にヘリコプター専用離着場を整備して、救急活動を支援します。

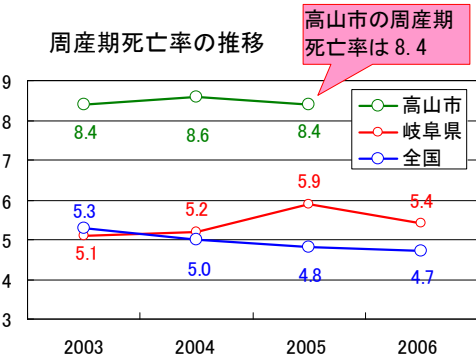
※所要時間の算定：高速道路の規制速度をもとに算出、一般道は道路時刻表('07~'08)等で算定

東海北陸道の開通により、高山赤十字病院からの**60分カバー圏\***が拡大し、地域の医療環境が向上します。また、周産期死亡率の高い飛騨地域の救急医療体制を支援します。

※60分カバー圏とは、カーラー曲線により、「出血多量」の場合において死亡率がほぼ100%未満となる地域  
※カーラー曲線とは、心臓・呼吸停止、多量出血してからの、時間の経過による死亡率の変化を示した曲線



※60分カバー圏は、富山県まで対象となるが岐阜県内を対象として作成



出典 人口動態統計(厚生労働省) 人口動態統計(飛騨地区保健所)

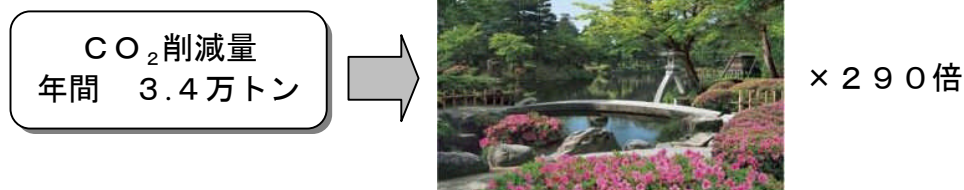
※ 高山市の2003、2004のデータは、市町村合併前のため、旧市町村の数値からNEXCO中日本が試算。(2006は未公表)  
・周産期：妊娠22週から生後7日未満までの期間。  
・周産期死亡率：年間の1000出産に対する周産期死亡の比率  
・周産期医療：周産期を含めた前後の期間における突発的な緊急事態に備えて産科・小児科双方からの一貫した総合的な医療体制を指す。

#### ④ 大気環境が改善されます。

東海北陸自動車道の開通による交通転換で、走行環境が改善されることにより、CO<sub>2</sub>、NO<sub>x</sub>、SPM の排出量が削減され、地球温暖化防止など大気環境の改善に貢献します。

##### ■CO<sub>2</sub>(二酸化炭素)排出量の削減

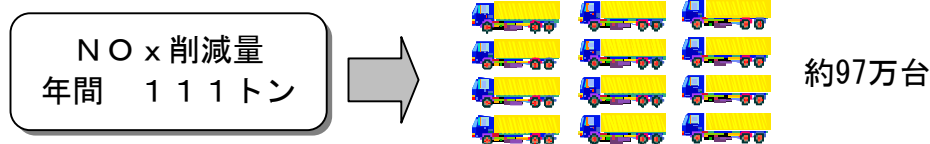
森林約3,210haの二酸化炭素吸収量に相当  
兼六園の面積(約11ha)の約290倍に相当



森林のCO<sub>2</sub>吸収を10.6t-CO<sub>2</sub>/ha・年と換算(出典:IPCC土地利用、土地利用変化および林業に関する優良手法指針)

##### ■NO<sub>x</sub>(窒素酸化物)排出量の削減

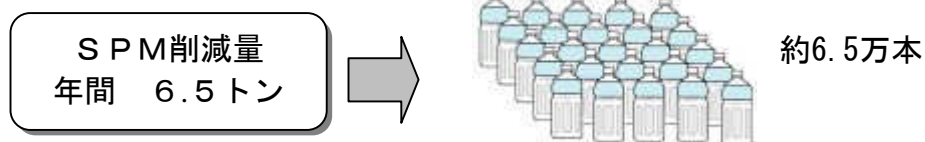
大型車約97万台の年間排出量に相当



大型車が40km/hで平均走行距離(約26km)を走行した場合に排出するNO<sub>x</sub>量に換算(4.4g/km・台)  
(出典:高速道路便覧2007、H17年度道路政策評価通達集)

##### ■SPM(浮遊粒子状物質)排出量の削減

ペットボトル約6.5万本に相当



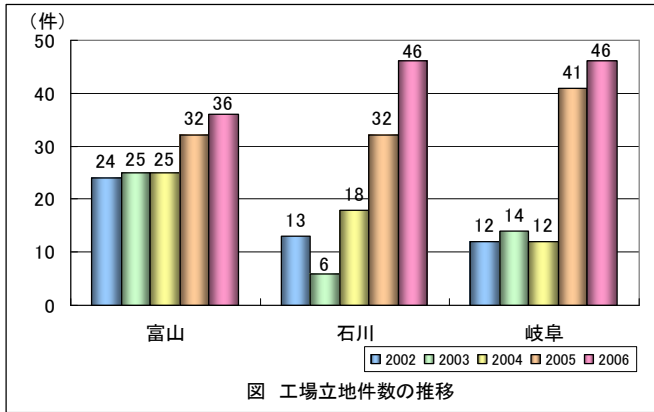
500mlペットボトル1本はSPM約100gとして換算

※客観的評価指標の定量的評価指標の算出方法について(案)平成15年11月、国土交通省に基づき算定。

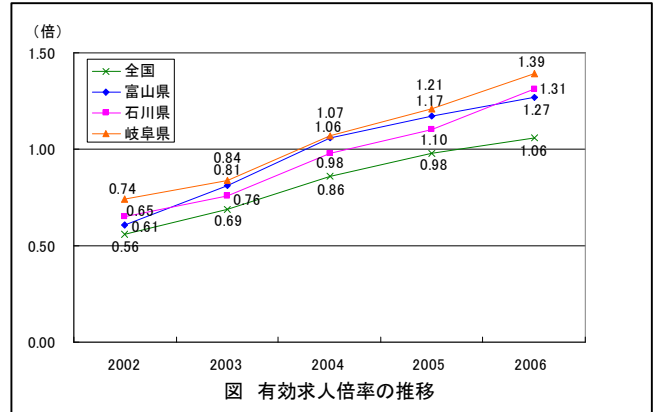
※H19年度末における道路ネットワークをもとに東海北陸自動車道 飛騨清見～白川郷間が開通したものと仮定し算定。

**⑤ 北陸地方における企業立地を促進します。**

富山、石川、岐阜では、新規の工場立地が増加しており、雇用や生産額の伸びとも好調です。東海北陸道の全線開通は、南北の連携が強化され、更なる北陸地域の産業の発展が期待されています。



出典 工場立地動向調査



出典 職業安定業務統計

■さらに、富山県などでは工業用地の新規分譲・計画が続いています。

富山、石川、岐阜の工場用地  
※) 石川県は造成中、岐阜県は飛騨市のみを記載している。

県	市	番号	名称	造成状況
富山県	県東部	1	入藤	計画中
		2	入善海洋深層水企業団地	造成済
		3	石田	造成済
	県中部	4	宍山	計画中
		5	利田	計画中
		6	塚越	計画中
		7	花崎・上大浦	計画中
		8	大沢野西部	計画中
		9	富山八尾中核	造成済
		10	三田(榎尾)	計画中
		11	西本郷	造成済
		12	呉羽南部企業団地	造成中
		13	富山新港	造成済
		14	七美	造成済
		15	富山新港中部	造成済
		16	稲積リバーサイドパーク	造成済
		17	小杉インターパーク	計画中
	県西部	18	大島企業団地	造成済
		19	広上	造成済
		20	高岡オフィスパーク	造成済
		21	岩坪	計画中
		22	四日市	計画中
		23	上田子	造成済
		24	東般若	計画中
		25	青島	計画中
		26	小矢野フロンティアパーク	造成済
		27	福光梅原南	造成済
石川県	金沢市	31	河原市	造成中
	小松市	32	矢田野	造成中
	33	串町	造成中	
白山市	34	旭	造成中	
岐阜県	飛騨市	41	旧神岡工業高校跡地	造成済
	42	北陸電気工業古川工場跡地	造成済	

凡例  
 ● : 造成済 (分譲を開始している用地)  
 ● : 造成中 (企業からの購入希望多数により造成中の用地)  
 ● : 計画中 (企業からの購入希望多数になれば造成を開始する用地)

出典 各県資料(2008.3現在)

## ⑥-1 東海及び北陸地方での広域観光を支援します。

東海北陸道の開通による移動時間の短縮で生じる余暇時間を利用した訪問先の増加が図られ、東海・北陸地方における広域観光を支援します。また、外国人観光客に人気の高い高山市を起点とした北陸側への観光の利便性向上が期待されます。

■高山市の外国人観光客が増加。アジアからの観光客が多く前年比の約1.2倍。  
外国人観光ツアーの中には、高山～金沢間を結ぶルートも見られます。

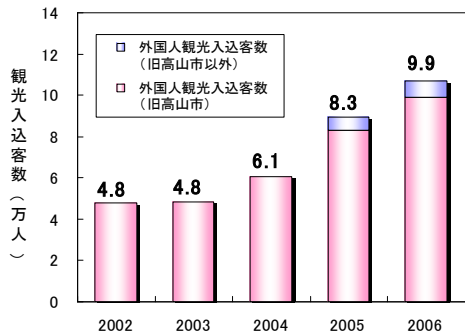


図 高山市外国人観光入込客数 出典：高山市観光統計

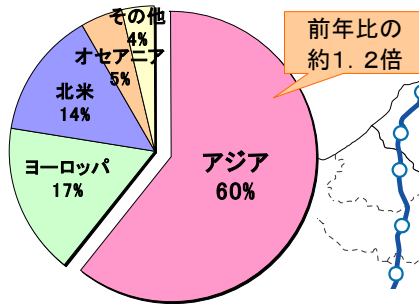
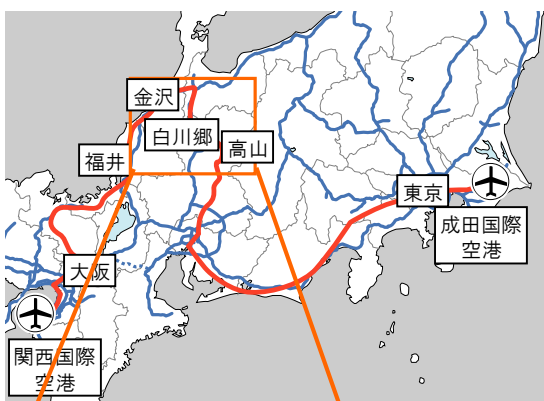


図 高山市外国人観光客の構成(2006) 出典：高山市観光統計

### 東海北陸道周辺主要観光地MAP



■中国からのツアーの例（高山～金沢間はバス移動）



【旅程】10泊11日  
【ツアースケジュール】  
1日目 中国発  
2日目 成田空港着  
3日目 東京(明治神宮等)  
4日目 日光  
5日目 箱根(富士山)  
6日目 京都  
7日目 京都  
8日目 高山  
9日目 ●金沢(白川郷)  
10日目 京都or東京  
11日目 空港  
【料金】\$2,560  
●:バス移動

◆高山～金沢間の時間短縮



◆高山～金沢間の時間短縮による新たな観光訪問の一例

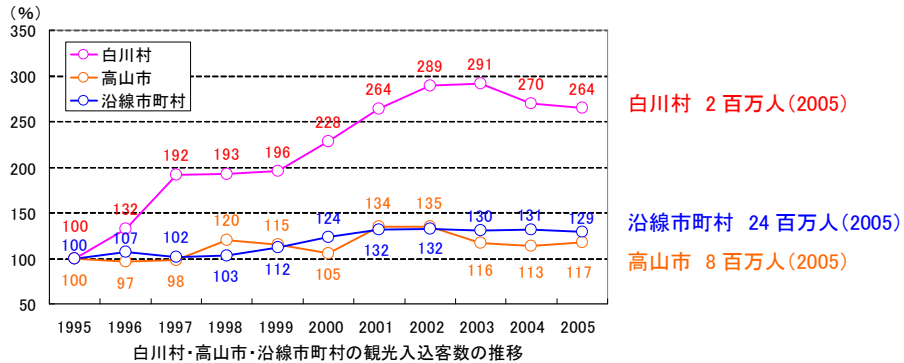
9:00	11:00	12:30	14:00	14:30	16:00	17:00
飛騨高山	(移動)	白川郷	(移動)	五箇山	(移動)	金沢
9:00	11:00	11:40	13:10	13:40	15:10	15:50
飛騨高山	(移動)	白川郷	(移動)	五箇山	(移動)	新たな観光地訪問
					(移動)	金沢

移動時間の短縮により生じた余暇時間を利用して新たな観光地（砺波チューリップ公園など）を訪問可能に。

## ⑥-2 飛騨地方や富山の観光地の発展に貢献します。

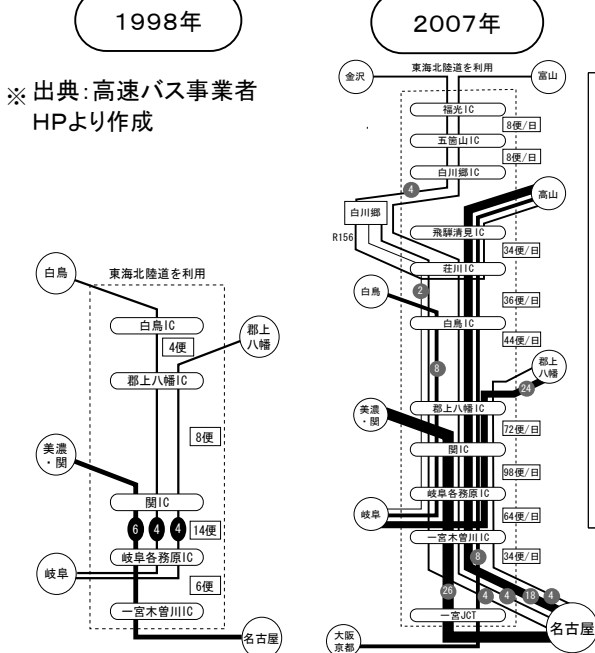
岐阜県内では、白川村、高山市の観光客数の増加が顕著です。  
 また、東海北陸道を利用した高速バスは、この10年間で約6倍、利用者数は約5倍に増加しています。  
 東海北陸道の開通により、北陸側から飛騨地方への、また東海側から北陸側へのアクセス改善により更なる観光客の増加が期待されます。

### ■白川村・高山市での観光客が増加

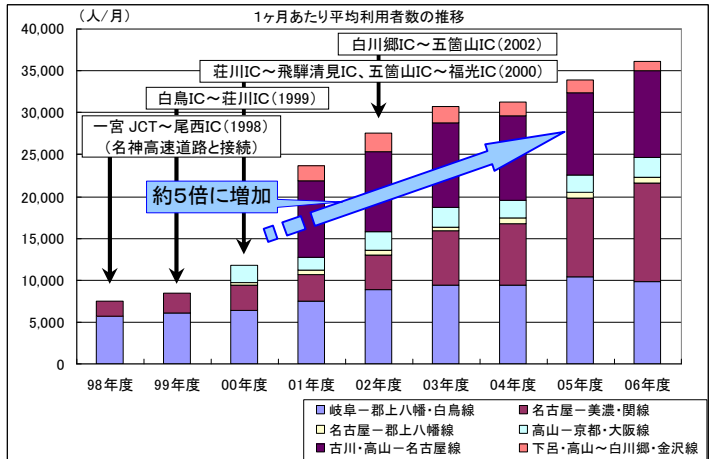


※)沿線市町村:飛騨市、関市、郡上市、美濃市、岐阜市、各務原市

### ■高速バスの便数は10年で約6倍、利用者数は約5倍増加



※ 出典:高速バス事業者HPより作成

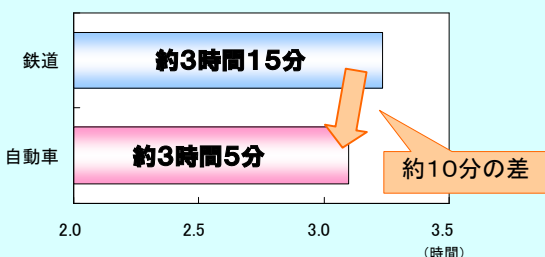


出典 岐阜乗合自動車(株)、濃飛乗合自動車(株)資料

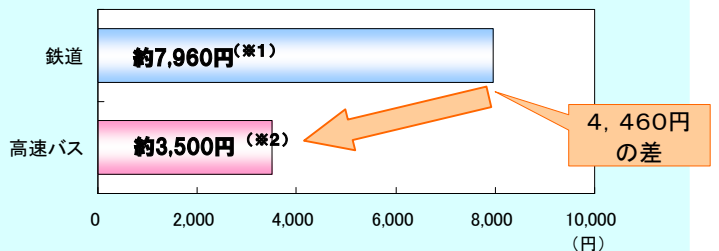
### ■新たな高速バス路線も加わり、東海から富山の観光地への誘客に期待

#### ◆名古屋駅~高岡駅の所要時間と料金(東海北陸道全線開通後)

##### ・所要時間の比較



##### ・料金の比較



※旅行時間の算出方法

鉄道は、在来線特急利用のみとし、時刻表(乗り継ぎ時間含)で算出  
 高速道路は規制速度、一般道は道路時刻表('07~'08)等から算出

(※1)7,960円(名古屋~高岡駅)

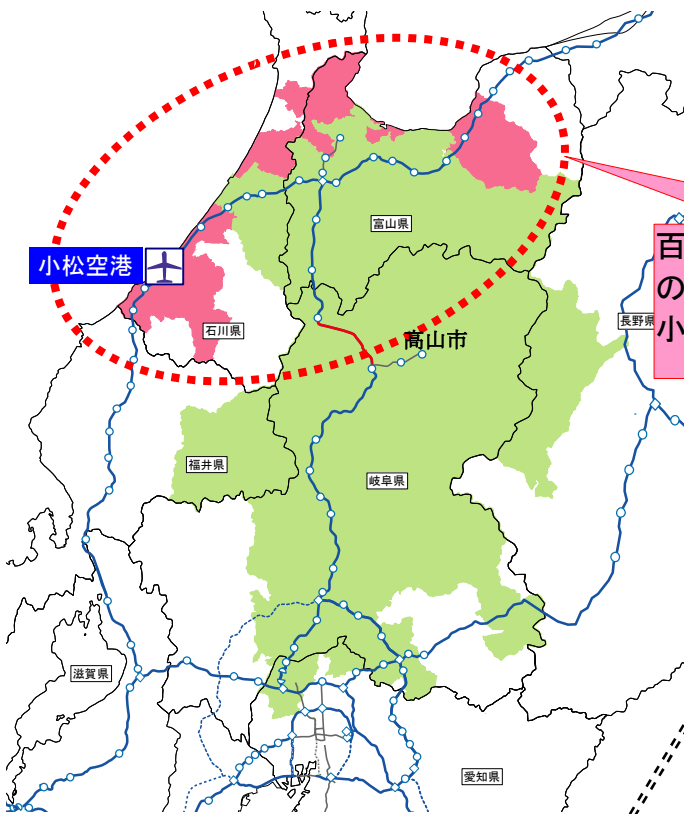
(※2)3,500円(名古屋~高岡駅 イルカ交通 HP から引用)



**⑦ 飛驒地方の生活圏域が拡大します。**

東海北陸自動車道の全線開通により、高山市、白川村の1日行動圏域（2時間圏）が拡大し、大型ショッピングセンター等多様な施設の利用が可能になります。また高山市からは小松空港が新たに2時間圏となります。

■高山市からの2時間圏域



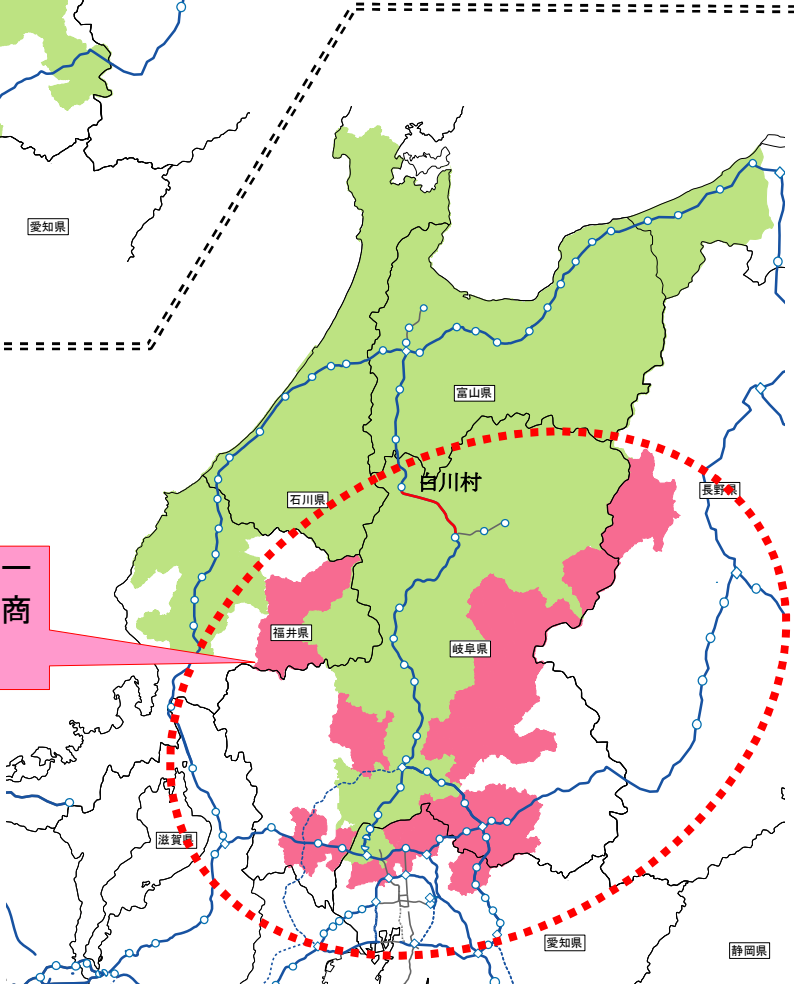
凡例	
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#90EE90;"></span>	開通前 2 時間圏
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#FF69B4;"></span>	開通後 2 時間圏

出典 NEXCO中日本調べ

百貨店 1 店舗（小松市）を含む計 8 箇所の大規模商業施設の利用が可能に。小松空港が新たに圏域に。

■白川村からの2時間圏域

大型ショッピングセンターなど計 65 箇所の大規模商業施設の利用が可能に。



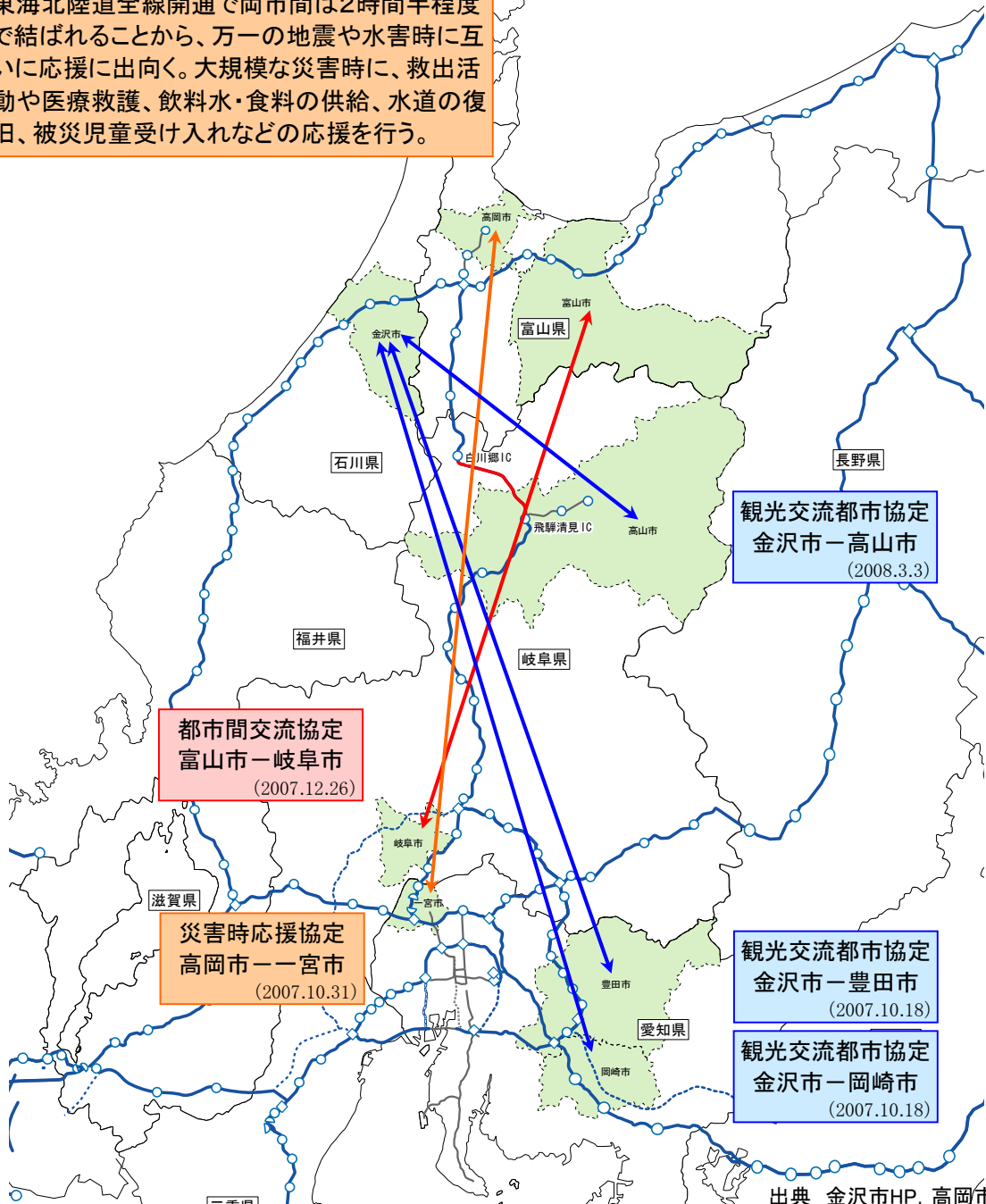
**⑧ 北陸地方と東海地方の自治体間の連携を支援します。**

**東海北陸道の開通を契機に、観光分野や防災分野などで自治体間協定の動きなどが見られます。**

◆都市間交流協定  
(富山市、岐阜市)  
地域の活性化と豊かな市民生活に資するために、圏域を超えた都市間交流を実現させる。「観光」「環境」「防災」の分野で交流を図り、両市間において協議し、緊密な連携を進める。

◆観光交流都市協定  
(金沢市と豊田市、岡崎市、高山市)  
東海北陸道の開通で交通アクセスが改善され、互いの交流を促進し、観光や地域経済の活性化につなげる。歴史的、産業的な結びつきを核に、相互の観光客誘致や、市民同士の交流を通じ連携を深める。

◆災害時応援協定  
(高岡市、一宮市)  
東海北陸道全線開通で両市間は2時間半程度で結ばれることから、万一の地震や水害時に互いに応援に向かう。大規模な災害時に、救出活動や医療救護、飲料水・食料の供給、水道の復旧、被災児童受け入れなどの応援を行う。



観光交流都市協定  
金沢市－高山市  
(2008.3.3)

都市間交流協定  
富山市－岐阜市  
(2007.12.26)

災害時応援協定  
高岡市－一宮市  
(2007.10.31)

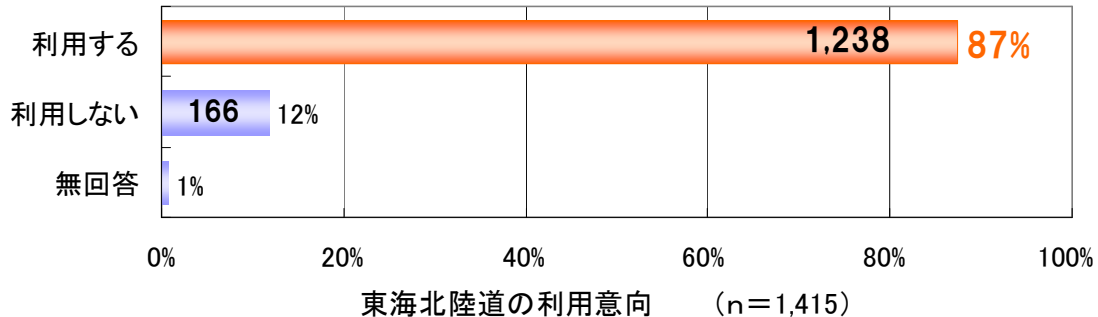
観光交流都市協定  
金沢市－豊田市  
(2007.10.18)

観光交流都市協定  
金沢市－岡崎市  
(2007.10.18)

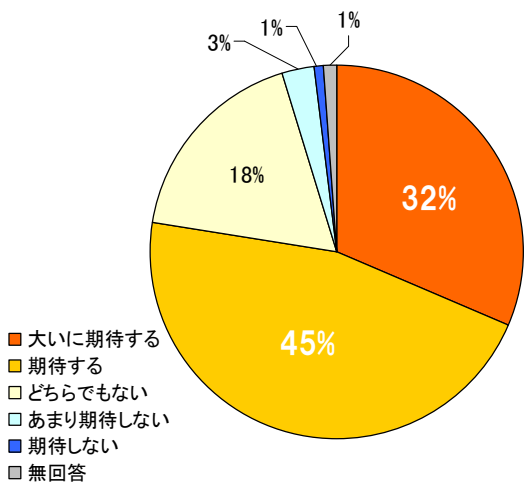
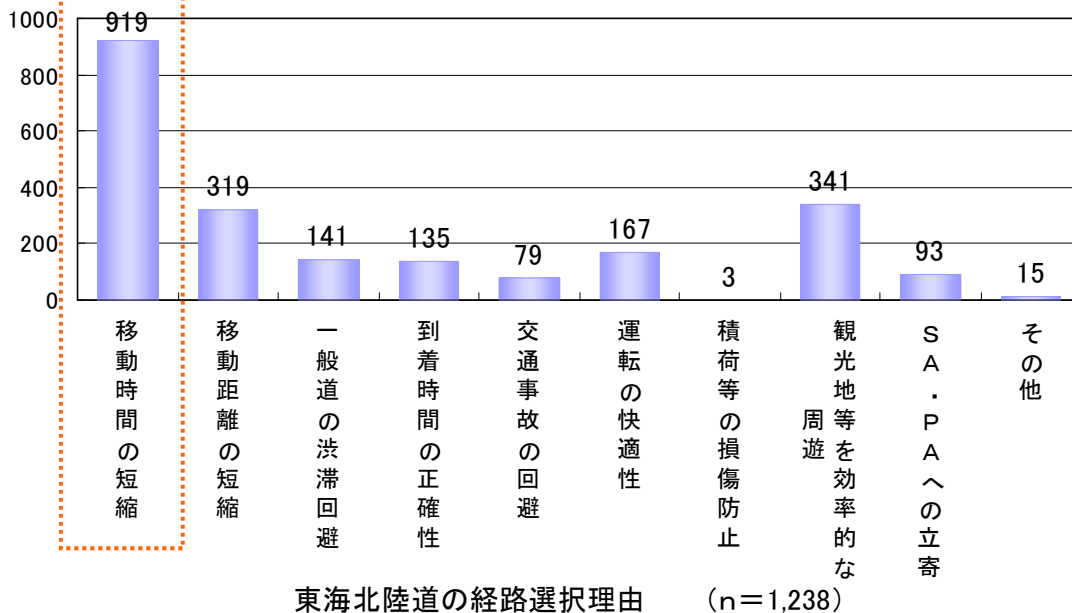
出典 金沢市HP、高岡市HP、岐阜市HP

⑨ 高速道路を利用するお客様も開通を待ち望んでいます。

高速道路を利用するお客様を対象にアンケート調査を実施したところ、約9割の方が開通後に「利用する」と回答され、高い需要がうかがえます。



■利用すると回答された方のうち、「移動時間の短縮」という理由が約75%と多く、「時間短縮効果」に期待していることがうかがえます。



【期待の声】

- 観光で白川郷や北陸の温泉に行くのに走りやすくなる (養老SAのお客様)
- スキー、スノーボードをしに行きやすくなる (養老SAのお客様)
- 名古屋方面に行くのが便利になること(今までは北陸自動車道経由で遠回りだった) (呉羽PAのお客様)
- 東海地区より日本海側への観光及び物流の流れが良くなり地域が元気になる (ひるがの高原SAのお客様)

★高速道路・自動車専用道路の利用に関するアンケート

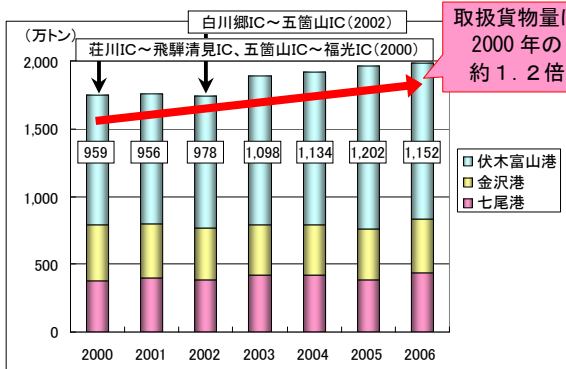
2007年12月2日(日)、「養老SA」「尾張一宮PA」「ひるがの高原SA」「呉羽PA」「小矢部川PA」にて対人調査および調査票配布調査を実施

## その他・参考資料

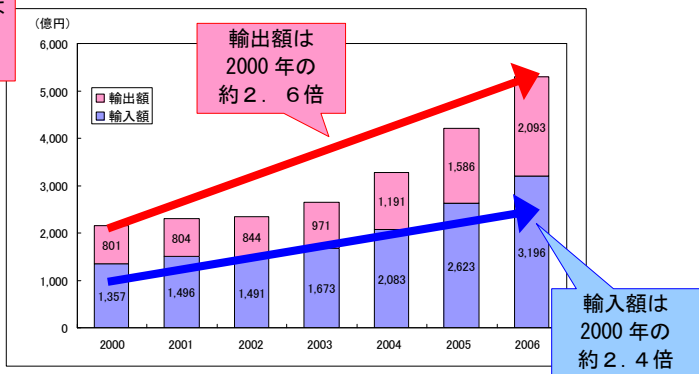
**【1】環日本海経済圏での国際競争力の強化を支援します。**

伏木富山港は、日本海側の特定重要港湾の一つであり、輸出入が増加しています。特に東アジア(ロシア、韓国、中国など)への輸出の伸びが顕著です。東海北陸道の全線開通により、中部圏と伏木富山港のアクセスが向上し、国際競争力の強化に貢献します。

■ 伏木富山港の取扱貨物量は 2000 年の約 1.2 倍、輸出額は約 2.6 倍、輸入額は約 2.4 倍

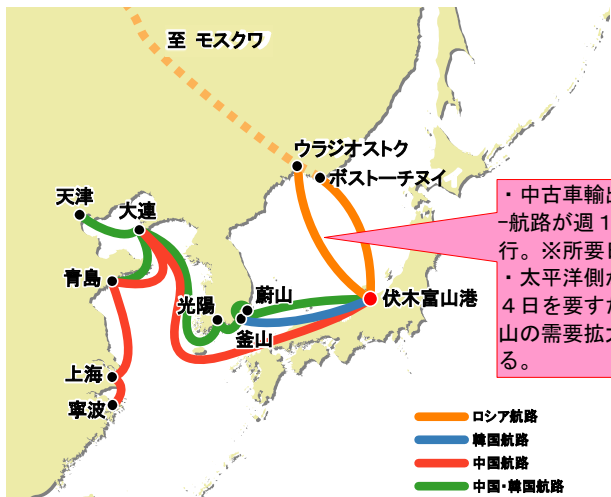


北陸特定重要・重要港湾の取扱貨物量  
出典 各県の港湾統計

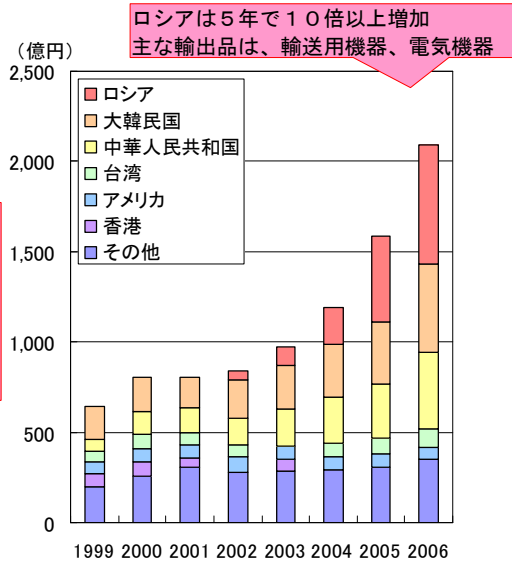


伏木富山港貿易額の推移  
出典 環日本海経済交流センターHP

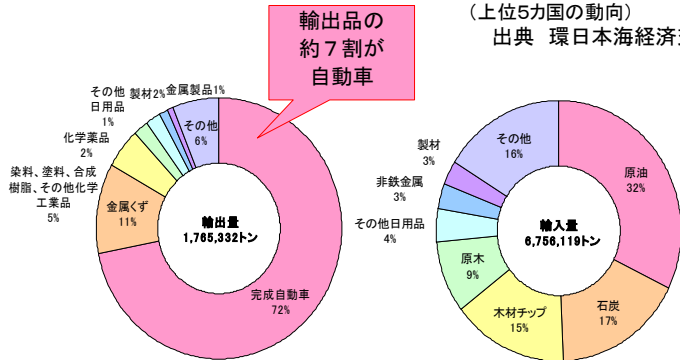
■ 伏木富山港の輸出額は5年で2.6倍に増加  
ロシアなどの増加が顕著 輸出品の約7割が完成自動車



伏木富山港からロシア・韓国・中国への航路  
出典 伏木富山港ポートセールス事業推進協議会HPをもとにNEXCO中日本で作成  
※関係者へのヒアリング



伏木税関管内輸出額の推移 (上位5カ国の動向)  
出典 環日本海経済交流センターHP

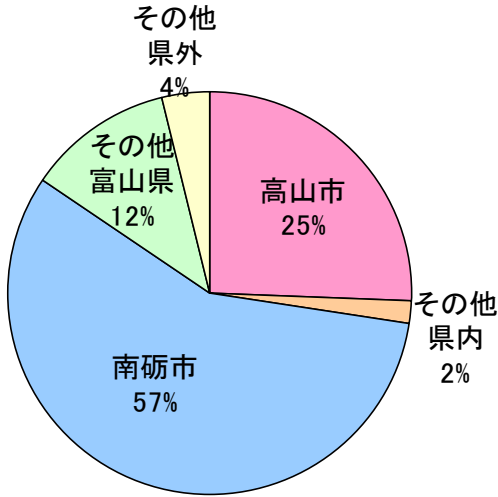


伏木富山港輸出入貨物の内訳(2006年)  
出典 伏木富山港事務所HP

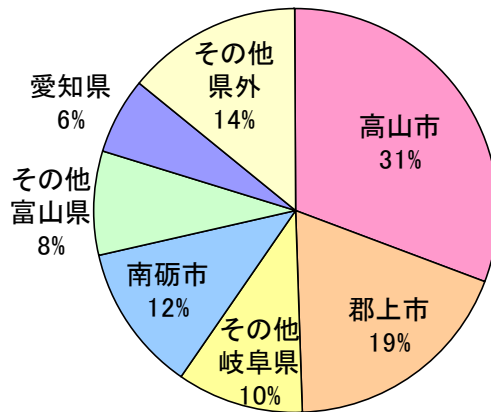
**【2】飛騨地方の通勤通学の支援が期待できます。**

高山市～白川村間では、就業・通学者の交流もあり、東海北陸道の開通により、一層の連携強化が期待されます。

◆白川村から他市へ通勤通学している人の割合



◆他市から白川村へ通勤通学している人の割合



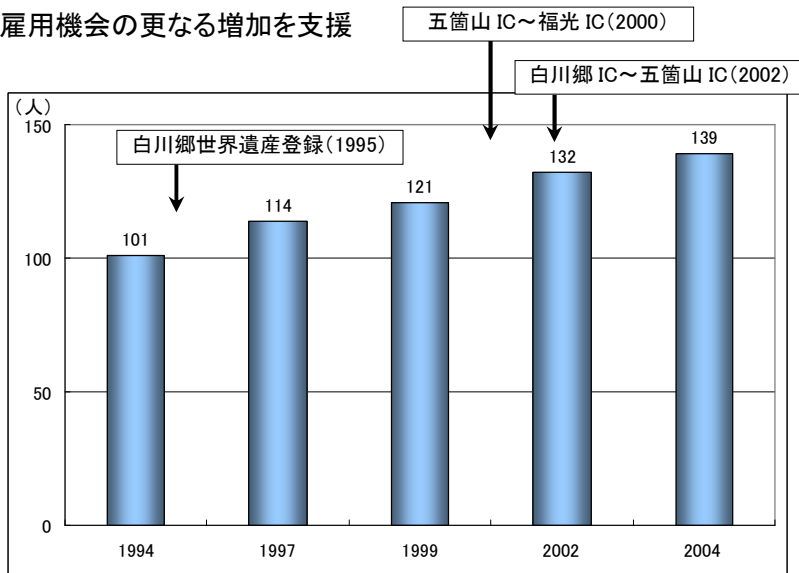
出典 国勢調査(2005)



**【3】沿線自治体の人口定着を支援します。**

白川村では、白川郷の世界遺産登録、東海北陸道の延伸などにより、雇用機会が拡大しています。

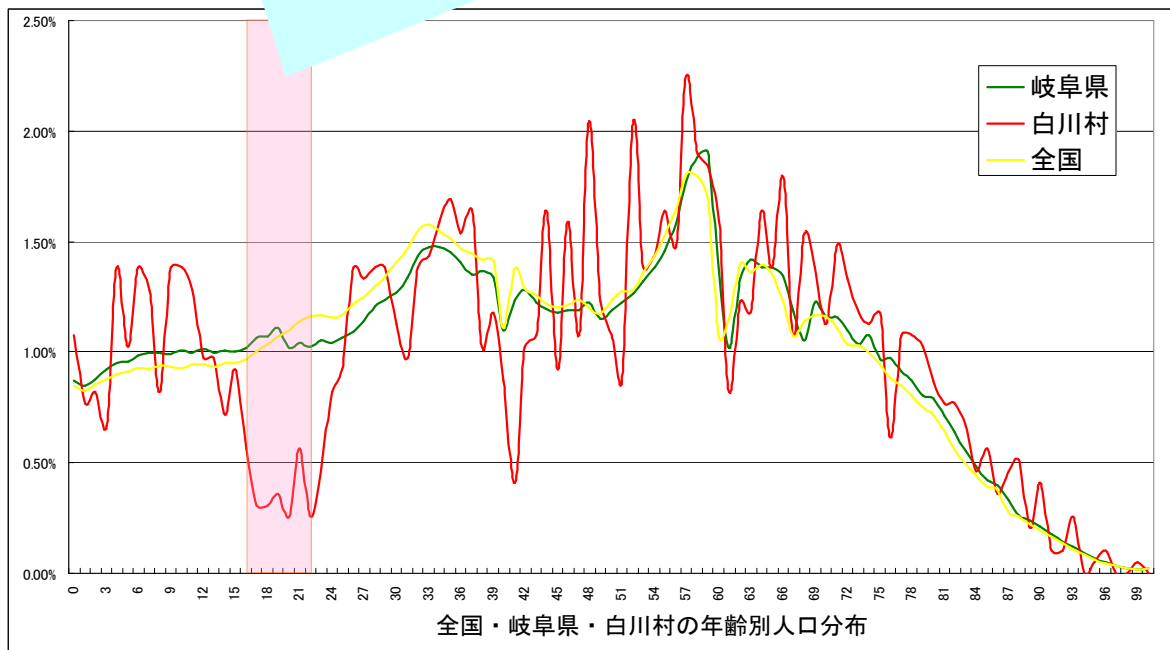
■雇用機会の更なる増加を支援



白川村の従業者数の推移 出典 商業統計

■村内に高校のない白川村では高校就学世代の流出などの理由で分布が低いですが、高山方面への時間短縮により、高山市までの通学が可能となり、在住地からの就学機会の増加が期待できます。

NEXCO 中日本では、高速道路関連社会貢献協議会の協力を得て、東海北陸道全通後に白川村が運行を計画している白川村～高山市間の通学バスの運行経費の一部(高速道路通行料金相当額)を支援することとなっています。



全国・岐阜県・白川村の年齢別人口分布

出典 国勢調査 (2005)